

学校教育課だより

かけはし



学校教育課だより
「かけはし」
【第10号】
平成31年
2月20日発行
御殿場市教育委員会
学校教育課

豆腐といしからの生涯学習

瀬戸 進吾



2/11-0. 1818(イヤイヤ)…から 5/9-0. 5555(ゴーゴー)…

人間の脳と豆腐は水分量が近いため、柔らかさは同じくになります。絹ごし豆腐ではなく、木綿豆腐程度の硬さの方が脳みそに近いそうです。「玉子豆腐になるな！少なくとも木綿豆腐になれ！」と先生が授業中に力説していたフレーズが思い出されます。

人間の脳と豆腐は水分量がかかりになります。絹ごし豆腐の多さ」という説もあり、「脳みそに移し換えるい 頭のよさは、脳の皺(シワ)しづ」と川柳で歌われています。実際は生まれた段階で既に脳はできあがっているので、生後いくら勉強しても皺(シワ)は増えないそうです。

「勉強」とは、将来のためには教わりながら知識を身に付けていくもので、気が進まないことも精を出し、努めていく姿勢が大切になります。

最初はやる気がぜんぜんなくとも、とりあえずやってみるところ、その先生は言つたかたのだと思います。

人間の脳と豆腐は水分量がかかりになります。絹ごし豆腐の多さ」という説もあり、「脳みそに移し換えるい 頭のよさは、脳の皺(シワ)しづ」と川柳で歌われています。実際は生まれた段階で既に脳はできあがっているので、生後いくら勉強しても皺(シワ)は増えないそうです。

学校教育は、学校教育を除く全ての組織的な教育活動になり、自発的な学習を目指しますが、学習は気まぐれで、やる気がなくてもできます。

市指定研究外国語・外国語活動中間発表会(御殿場小・中学校)

指導主事 沢 謙志

御殿場小学校の研究主題は

供し、習おうという意識にならぬでいるかが鍵になります。

学習者の視点で捉えると学

校教育・社会教育・家庭教育も生涯学習になります。生涯学習社会を推進している国は

平成三十年度「総合教育政策局」を文部科学省に設置しま

した。生涯学習の理念を踏まえた総合的な教育政策を展開し、課題であつた学校教育と社会教育の縦割りを克服して

いく意向です。

学校教育との連携・融合は、夏目漱石の「草枕」にある「葛湯を練るとき、最初のうちは、

さらさらして、箸に手応(てこ)たえがないものだ。そこを辛抱(しんぱう)すると、ようやく粘着(ねばり)が出て、かきまぜる手が少し重くなる。それでも構わず、箸を

休ませずに廻すとも今度は廻しきれなくなる。」と書かれているようになれば良いと感じます。



「自他のよさや違いを認め、自らつながり合おうとする子の育成」です。当日は、三年生から六年生の四学級を公開しましたが、五感を使って英語表現そのものを楽しんだり、言葉とジェスチャーを使って思いを伝え合つたりする子供たちの姿が見られました。ALTがつかず、学級担任単独の授業も公開しましたが、児童と教師が自信を持って英語を表現し、お互いに学びの質を高め合つていました。また、廊下や階段にある英語の掲示物や、教師のEタイムによる活動等からも御殿場小学校の研究の充実ぶりがうかがえました。

一方、御殿場中学校の研究主題は、「学びの実感を積み重ねる授業・活動づくり」です。今回の中間発表会では、授業公開はしませんでしたが、御殿場中学校では、より一層小中連携を意識しています。なだ子供たちは、机の上でじつと話を聞く授業より、コミュニケーションをとりながらアクティビティに活動する授業を得意としてくるからです。そんな生徒の実態を正確にとらえ、

それぞれの教科担任が持つ専門性と関係付けながら、子供たちの資質・能力を引き上げようとしています。特に、核となる外国語と外国語活動では、小中学校の教師が事前の指導案作りから関わり合い、研究授業や、事後研修を通して、お互いの理念や指導方法を共有し、一歩進んだ連携の姿を見せてもらっています。

御殿場小・中学校の両校長先生をはじめとする両校教職員の皆様には、熱心に研究に取り組んでいただき、誠に感謝しております。

風 薫る

教育指導センターから

け
は
し
け
か



「教えたがり症癖」を考える
指導員 十屋 英次

教室にあこがれ、希望に燃えて着任された先生方は、意欲があります。真面目です。そして一生懸命です。試行錯誤しながら確実に成長しています。でも空回りすることもあります。

高根中学校小澤俊晃先生は、一年数学の授業の導入に、シユレッダーで裁断された大きなビニール袋いっぱいのゴミを教室に持ってきて、「この袋の中には、A4用紙何枚分の紙があるのでしよう」と投げかけました。(五百枚のコピー用紙の束も同時に提示)生徒は、目を輝かせ、身を乗り出して解決方法を考え始めました。

そのインパクトが生徒の心を揺さぶり興味を持たせ、自ら演技のリアルな体験活動を通して断つたのか?の事例を全体の前で発表させました。さすが三年生で、巧妙な誘い文句や断りの言葉が紹介されました。

高根中・富士岡中の授業で共通している学級づくり

高根中での自由に出歩いての生徒同士の交流、富士岡中の全員がそれぞれの立場で役割演技を同時に行う活動。誰ひとりとして、別なことをしている生徒はいませんでした。全員がその課題に真剣に向かう学習集団としての土台が出来ました。

「生徒主体的に考えて、交流し深める問題解決的な学習」

生徒はやらされている感が強く一方的に知識などを押し付けられ、意欲的になれない。となつていませんか。

生徒が心当たりがありませんか?要するに、教師の敷いた路線で学ばせたい。そしてはみ出すことを嫌う。

こんな考え方や姿が見え隠れするのですが、心当たりがあります。なぜでしょう。

あります。

が変わりました。

「生徒主体の体験的な活動を通して、学びが深まる」

富士岡中学校の鈴木拓也先

生は、三年の「保健体育」で

「薬物乱用と健康」がテーマ

の授業を行いました。導入で

は、「醉っ払いメガネ」を男子

生徒にかけさせて、教室の中

央を歩かせました。歩く途中

に二つ行為を行わせましたが、

「酔っ払いメガネ」のせいで

達成できませんでした。その

体験活動から本時の課題にの

めり込んだ生徒が「薬物乱用

の害」をまとめました。その

後、全員が薬物勧誘側と誘い

を受ける側に名札をつけて

役割演技をさせました。いか

に巧妙に誘い文句を述べるか、

どうやって断るカリアルな疑

似体験が行われました。役割

演技のリアルな体験活動を通

して、どんな誘い文句があつたのか?それに対してもどうや

つて断つたのか?の事例を全

ての前で発表させました。さ

すが三年生で、巧妙な誘い文

句や断りの言葉が紹介されま

した。

評 保健の授業は、講義をしてノートにまとめて終わることが多いのですが、鈴木教諭は、「醉っ払いメガネ」の体験から入りました。生徒全員が「薬物」の課題意識を持つことができました。

評 「薬物の誘い方、断り方を考えよう」が中心の授業であり、中学校三年生に役割演技を組織して、考えさせました。真剣に、そしてよく考えられた誘い文句、断りの文句が発表され、こんなにも深く考えられるのだと感心させられました。人ごとでない、我和身に重ね合わせた学びができました。

評 教師が押し付けた課題のように見えますが、大量のシユレッダーゴミを生徒の前に持ってきて、「A4用紙何枚分か?」と問う、「ライブの学び」とでも言いましょうか。

教師が押し付けた課題のようになりますが、大量のシユレッダーゴミを生徒の前に持ってきて、「A4用紙何枚分か?」と問う、「ライブの学び」とでも言いましょうか。

高根中での自由に出歩いての生徒同士の交流、富士岡中の全員がそれぞれの立場で役割演技を同時に行う活動。誰ひとりとして、別なことをしている生徒はいませんでした。全員がその課題に真剣に向かう学習集団としての土台が出来ました。